

後志管内

北海道小樽高等支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒047-0261 小樽市銭函1丁目10番1号
- 問 合 せ 先 TEL 0134-61-3400
FAX 0134-61-3430
E-mail otarukoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.otarukoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「豊かな心を持ち 力をあわせて 生き生きと活動する
生徒を育てる」
- 校 訓
「感 動」「協 働」「躍 動」
- 概 要



本校は平成21年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。今年度は153名の生徒が在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習、各教科、進路の学習などにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、将来、社会人・職業人として必要な力を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、集団生活を通し、自主的・自律的に生活する力の定着を図っています。

■特色ある教育活動

今年度の重点目標～「学び・地域・対話」を、Workingで“原点回帰”。

- ①新学習指導要領を踏まえて、本人の参加を大切に、対話による多様な学びのある授業を通して、社会の構成員としての資質と能力を育む。
- ②質の高い学校生活のために、コミュニティ・スクールとして、地域と対話し、効果的な学習環境を創造する。
- ③キャッチフレーズによる生徒・教師・保護者との対話を深めて、チーム力を発揮する学校をつくる。

- 各学科の作業学習と『地域を生かした教育活動』について

【 生産技術科 】

和紙を使った製品の製作や、グラス加工等の学習を行っています。地域の高等学校と共同開発した製品を市内のイベントで販売したり、和紙を提供したりしています。

【 木工科 】

木工製品の製作のほかに、東京おもちゃ美術館が推進する「Book&Toyプロジェクト」へ参加したことをきっかけに、ミャンマーのことを知る学習にも取り組んでいます。

【 環境・流通サポート科 】

校舎の清掃活動、学校要覧などの丁合い・製本のほかに、地域の清掃活動や、独居老人宅の除雪活動に取り組んでいます。また、アビリンピック北海道大会に出場しています。

【 家庭総合科 】

バッグやポーチなどの縫工製品や、パンなどの製菓製品を製造しています。製造したパンは、校内のカフェなどで地域の方に販売しています。

【 福祉サービス科 】

高齢者介護の学習、校内にあるカフェでの接客、製菓実習などを行っています。また、「介護職員初任者研修」の資格取得に取り組んだり、アビリンピック北海道大会に出場したりしています。



生産技術科：紙すき



木工科：製品の組み立て



環境・流通サポート科：校内清掃



家庭総合科：製パン



福祉サービス科：カフェでの接客



寄宿舎：地域の方との茶話会

■第1学年生徒の週時程表

【生産技術科】

	月	火	水	木	金
1	情報	作業学習	保健体育	作業学習	社会
2	家庭		数学		理科
3	国語		音楽		職業
4	数学		国語		外国語
5	作業学習 / 進路学習	保健体育	美術	保健体育	LHR
6					

■教育課程の特徴

- 『働く力を高める作業学習』
学科の作業学習を通して、働くために必要な知識や技能、態度を身に付けます。特に本校では、「地域とのつながり」を大切に、作業学習に取り組んでいます。
また、現場実習や就業体験など、実際の場面での学習を多く設定し、望ましい勤労観や職業観を身に付け、将来の進路選択につなげています。
- 『生活する力を高める各教科の学習』
社会生活に必要な学力を身に付けるため、国語、数学、社会、家庭、外国語などの教科の学習を行っています。
- 『進路学習（総合的な探究の時間）』
自分の個性を生かした進路選択ができるよう、「卒業後の仕事、生活、余暇」などについて学びます。
また、「キャリアカウンセリング」を行い、学校生活の自分の目標を、学級担任と相談しながら一緒に考えていきます。

*登校時間 8:00~8:40 (月~金)

*下校時間 15:30 (月~水) / 14:30 (木・金)

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）~28名
【食品スーパー、医療福祉、流通など】
- 福祉的就労（就労移行、就労継続支援B型など）~16名
- 進学~2名
- その他~1名

学校QRコード

